

平成 30 年度

福臨技臨床検査精度管理調査報告書

## 8.2 細胞検査

2018.10

一般社団法人 福島県臨床検査技師会

## 平成 30 年度細胞検査フォトサーベイ

### 【目 的】

- 1.細胞検査技術の共有
- 2.判定・診断能力の維持および向上
- 3.細胞検査の運用に役立てる

### 【設問分野】

婦人科	1 問
呼吸器	1 問
乳腺	1 問
泌尿器	1 問
甲状腺	1 問
頸部皮下腫瘍穿刺吸引（教育症例）	1 問

### 【評 価】

設問 1～5 までは評価対象問題で、教育症例は評価対象外です。

「臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価法に関する日臨技指針」に基づき評価を行いました。

# 設問・解答・解説

## 設問 1

症 例 : 55 歳、女性  
臨床所見 : 子宮癌検診  
検 体 : 子宮頸部擦過  
写 真 : 図 1 Pap ×40 図 2 Pap ×40  
図 3 Pap ×100

- ① : 扁平上皮化生細胞      ② : ヘルペス感染細胞      ③ : カンジダ  
④ : ASC-US      ⑤ : LSIL

### 正解 : ③カンジダ

炎症性背景のなか、表層、中層細胞の集塊を貫くように赤褐色の細長い仮性菌糸と所々に芽胞が認められます。細胞には核周囲明庭や、核の肥大が認められます。カンジダ感染症の細胞像です。

## 設問 2

症 例 : 58 歳、女性  
臨床所見 : 右肺門部異常陰影  
既往歴 : 3 年前に直腸癌で手術  
検 体 : 肺腫瘍捺印  
写 真 : 図 1 Pap ×10 図 2 Pap ×40  
図 3 Pap ×100

- ① : 線毛円柱上皮細胞集塊      ② : 扁平上皮癌      ③ : 大細胞神経内分泌癌  
④ : 腺癌 (肺原発 : 浸潤性粘液性腺癌)      ⑤ : 腺癌 (直腸癌の肺転移)

### 正解 : ⑤腺癌 (直腸癌の肺転移)

出血・壊死物質を伴う背景に、濃染核を有する高円柱状細胞が明瞭な柵状配列を伴う集塊で出現しています。集塊を構成する細胞の核は円～長楕円形で重積しており、核クロマチン増量、核小体は腫大し 1～数个認められます。

既往歴の直腸癌の肺転移に矛盾しない細胞像です。

### 設問3

症 例 : 51 歳、女性  
臨床所見 : 右乳腺腫瘍、US で A 領域に 2 cm 大、不整形、境界不明瞭の腫瘍  
検 体 : 右乳腺穿刺吸引細胞診  
写 真 : 図 1 Pap ×20 図 2 Pap ×40  
図 3 Pap ×100 図 4 Pap ×100

- ① : 乳腺症                      ② : 乳管内乳頭腫                      ③ : 線維腺腫  
④ : 粘液癌                      ⑤ : 浸潤性微小乳頭癌

#### 正解 : ④粘液癌

背景には赤紫色または橙黄色に染色される粘液を多量に認めます。  
類円形や球状の細胞集塊が、粘液に年輪状に包みこまれるように、  
あるいは粘液に浮かんでいるように出現しています。  
細胞は軽度重積性があり、配列の乱れや、核の大小不同、クロマチンの増量が認められます。粘液癌が推測される細胞像です。

### 設問4

症 例 : 87 歳、男性  
臨床所見 : 血尿  
検 体 : 自然尿  
写 真 : 図 1 Pap ×100 図 2 Pap ×100  
図 3 Pap ×100

- ① : 良性尿路上皮細胞                      ② : ウイルス感染細胞                      ③ : 尿路上皮癌  
④ : 扁平上皮癌                      ⑤ : 腎癌 (明細胞癌)

#### 正解 : ③尿路上皮癌

血性背景に、N/C 比の高い異型細胞が孤立散在性～重積性集塊となって出現しています。核は中心性で大小不同および核形不整があり、pair cell を認めます。クロマチンは粗顆粒状に増量し、核異型を示していることから、悪性細胞と判断します。腎明細胞癌では、核偏在や淡く広い細胞質、扁平上皮癌では角化傾向や重厚感のある胞体を有することからそれぞれ除外し、尿路上皮癌を選択します。

## 設問 5

症 例 : 46 歳、男性  
臨床所見 : 甲状腺腫瘍  
検 体 : 甲状腺腫瘍穿刺吸引  
写 真 : 図 1 Pap ×20 図 2 Pap ×100  
図 3 Pap ×100 図 4 Pap ×100

- ① : 腺腫様甲状腺腫                      ② : 濾胞性腫瘍                      ③ : 乳頭癌  
④ : 未分化癌                              ⑤ : 髄様癌

### 正解 : ③乳頭癌

出現している細胞の結合は強く、乳頭状集塊を認めます。核クロマチンは淡明で細顆粒状に増量し、核溝や核内細胞質封入体を認め、乳頭癌を示唆する所見を示しています。

教育症例 : 評価対象外です。

教育症例

症 例 : 17 歳、女性  
臨床所見 : 右頸部腫瘤  
検 体 : 右頸部腫瘤穿刺吸引  
写 真 : 図 1 Pap ×40 図 2 Pap ×40  
図 3 Giemsa ×40

- ① : 多形腺腫                              ② : ワルチン腫瘍                      ③ : 基底細胞腺腫  
④ : 石灰化上皮腫                        ⑤ : 筋上皮腫

### 正解 : ④石灰化上皮腫

血性背景に、小型好塩基性細胞（基底細胞様）の集塊（図 1、3）がみられます。さらにこれらの集塊は重積性を示し、細胞は N/C 比が高く、核は類円形単一で濃染しています。また、陰影細胞（無核の変性した表層扁平上皮様の細胞）（図 2）もみられます。変性が目立ち、核を認めず、形状は不整形を示し、いわゆる ghost cell 様で、これらの所見が石灰化上皮腫の特徴を示唆しています。

本疾患は毛母腫（pilomatricoma）ともよばれ、若年者の顔面、頭部、外耳道、頸部および上肢の皮膚などに好発します。

## 細胞検査サーベイ 解答一覧表

施設番号	問1	問2	問3	問4	問5
2	③	⑤	④	③	③
7	③	⑤	④	③	③
9	③	⑤	④	③	③
11	③	⑤	④	③	③
18	③	⑤	④	③	③
19	③	⑤	④	③	③
21	③	⑤	④	③	③
23	③	⑤	④	③	③
24	③	⑤	④	③	③
31	③	⑤	④	③	③
32	③	⑤	④	③	③
34	③	⑤	④	③	③
36	③	⑤	④	③	③
37	③	⑤	④	③	③
39	③	⑤	④	③	③
48	③	⑤	④	③	③
50	③	⑤	④	③	③
51	③	⑤	④	③	③
55	③	⑤	④	③	③
正解番号	③	⑤	④	③	③
正解率(%)	100	100	100	100	100

## 細胞検査サーベイ 検査評価

施設番号	判 定			
	A	B	C	D
2	5			
7	5			
9	5			
11	5			
18	5			
19	5			
21	5			
23	5			
24	5			
31	5			
32	5			
34	5			
36	5			
37	5			
39	5			
48	5			
50	5			
51	5			
55	5			

※判定A: 正解設問数、判定D: 不正解設問数です。

## 細胞検査フォトサーベイのまとめ

### 1. フォトサーベイについて

平成 30 年度は、例年通り設問 5 題に教育症例 1 題を加えた計 6 題のフォトサーベイを実施しました。設問は、①婦人科、②呼吸器、③乳腺、④泌尿器、⑤甲状腺の検査材料を対象と致しました。また、教育症例は頸部腫瘍 FNAC 標本を提示しました。

設問 1 婦人科、正解率 100%。

設問 2 呼吸器、正解率 100%。

設問 3 乳腺、正解率 100%。

設問 4 泌尿器、正解率 100%。

設問 5 甲状腺、正解率 100%。

教育症例では、若年者の顔面、頸部、上肢に好発する皮下腫瘍で、形成外科や皮膚科からしばしば提出される検体です。見慣れない場合は、基底細胞癌や小細胞癌などに過大評価する組織型です。好発年齢や発生部位などの臨床所見および特徴的な細胞像を提示しました。一度、細胞像を確認すれば今後の鏡検に参考になると思われま

今回の設問は、比較的基礎的な問題提示により設問全て正解率 100%となりました。それぞれの細胞像の特徴的な所見を捉えれば組織推定は可能と思われま

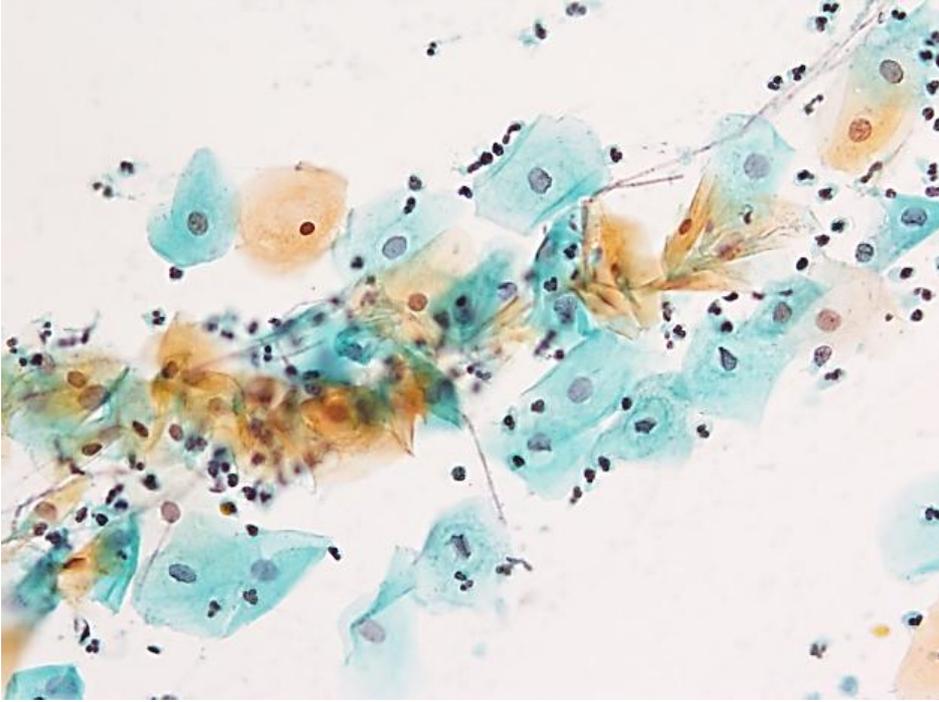
### 2. 細胞検査フォトサーベイ手引書画像に関する不適切な提示について

今回、教育症例を回答する際に画像の上にマウスを置くと不適切な表示が発生すると

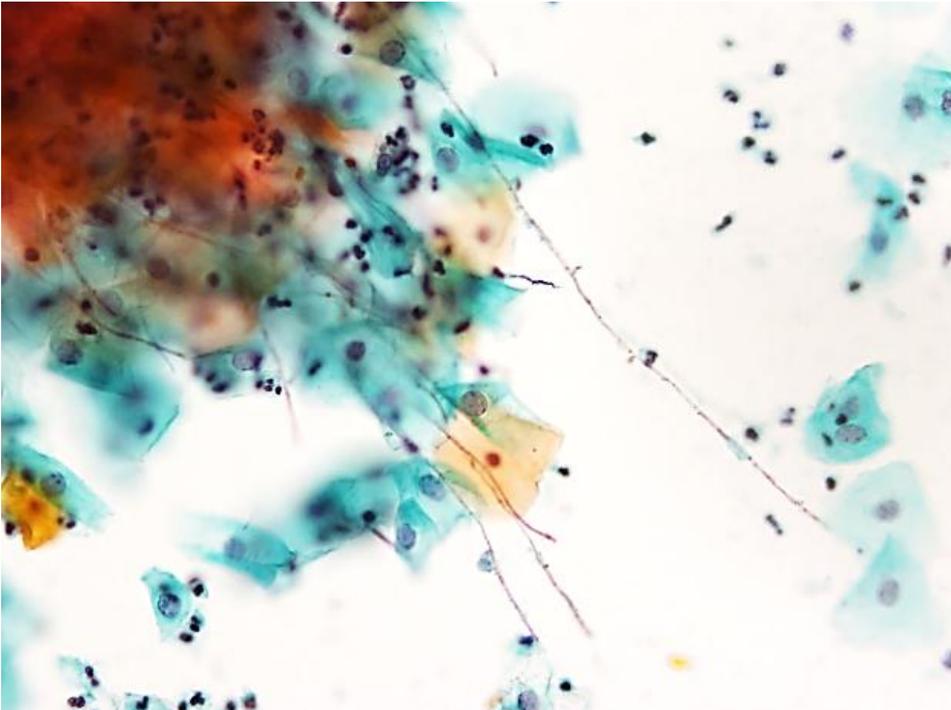
最後に、細胞検査フォトサーベイに標本を提供して頂いた坪井病院 中央検査部 佐藤 陽子技師、白河厚生総合病院 検査科 小林 英樹技師ならびに多くのご助言を頂いた白河厚生総合病院 病理診断科 野沢 佳弘先生、大原総合病院 病理診断科 内海 康文先生に深く感謝申し上げます。また、今後も細胞検査フォトサーベイを継続的に実施するためにも会員の皆様方の標本提供にご協力をお願い致します。

# 設問 1

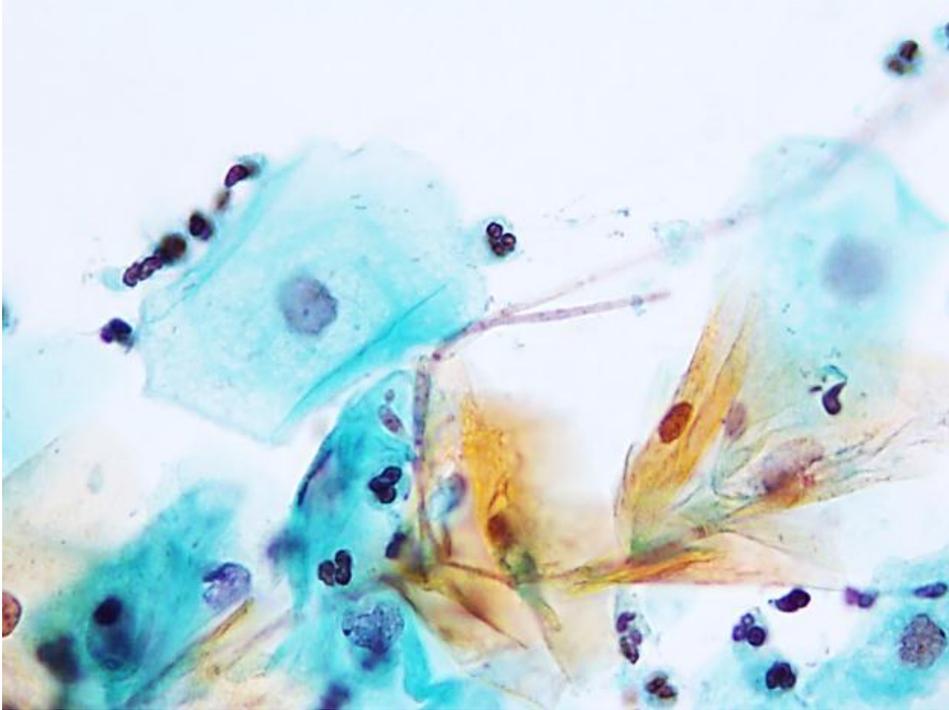
1 図 Pap ×40



2 図 Pap ×40



3 罫 Pap ×100



## 設問 2

図1 Pap ×10

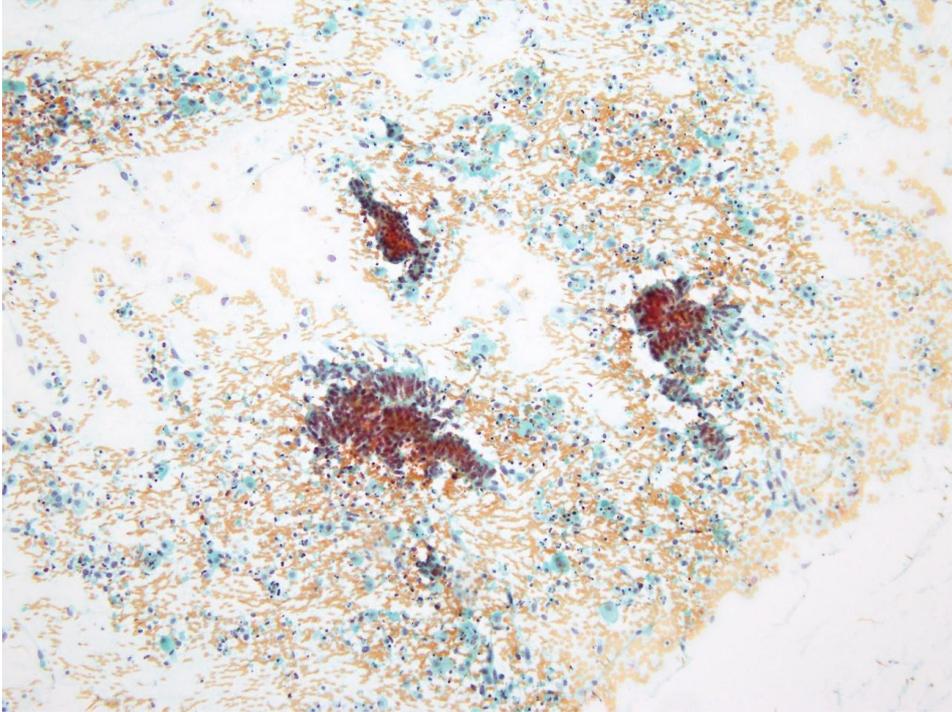


図2 Pap ×40

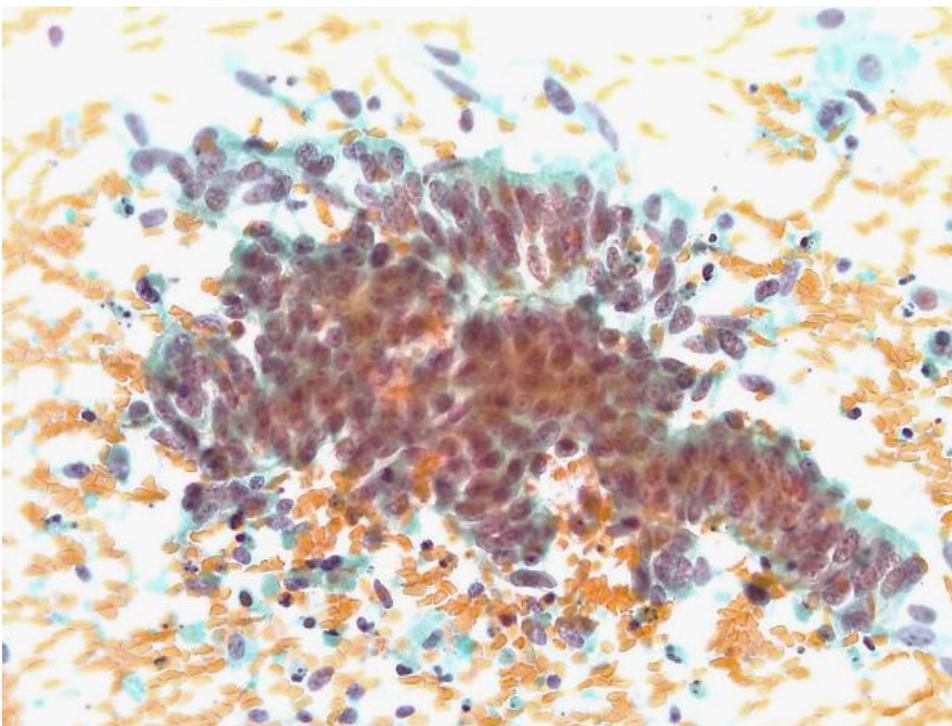
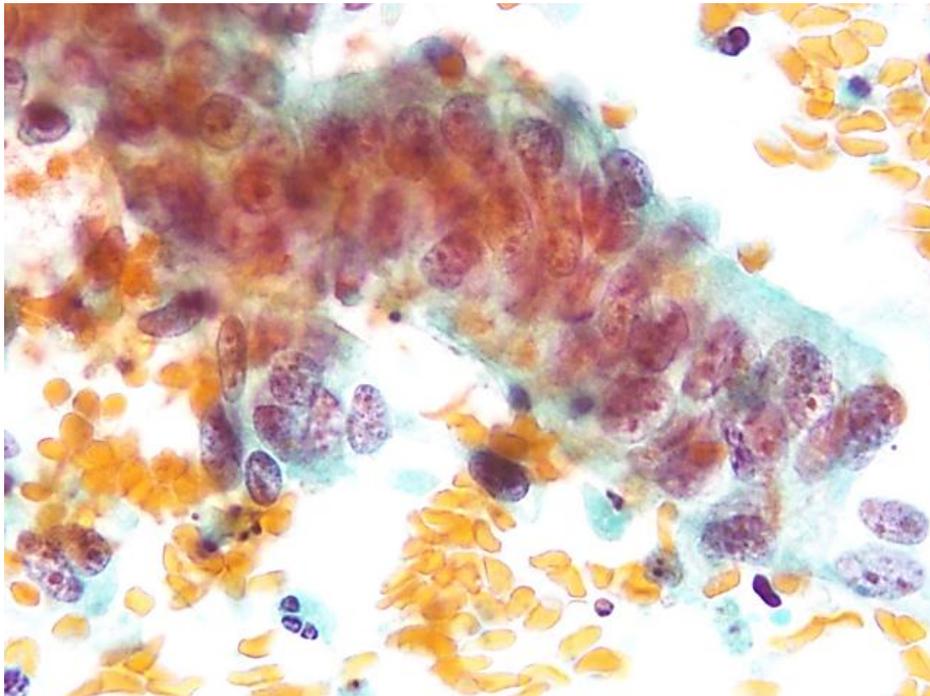


図3 Pap ×100



### 設問 3

図1 Pap ×20

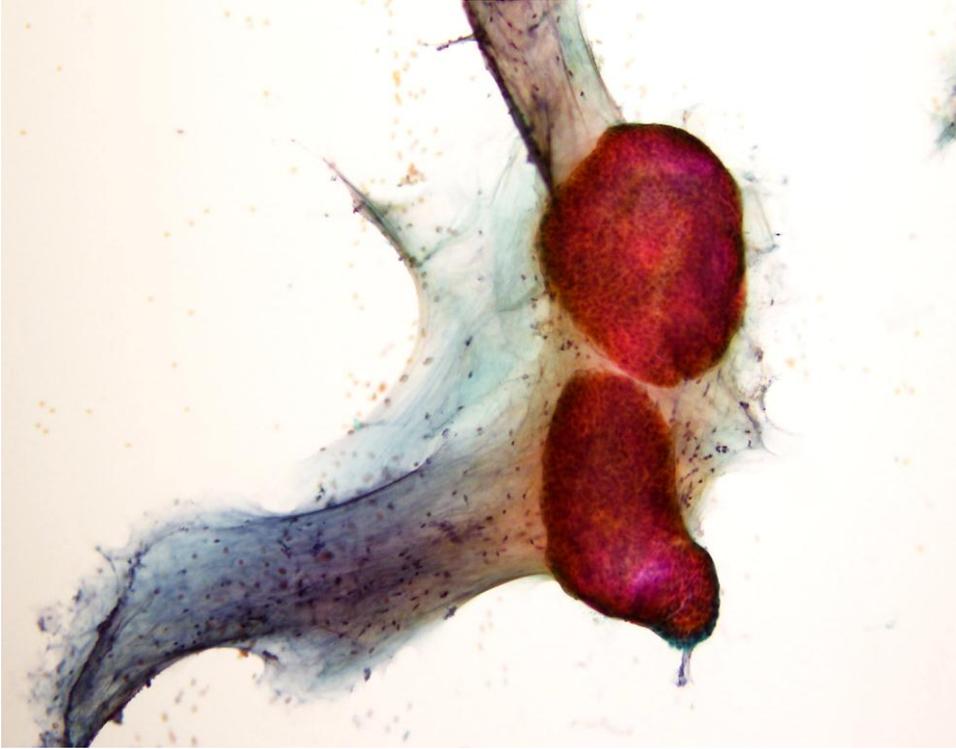


図2 Pap ×40

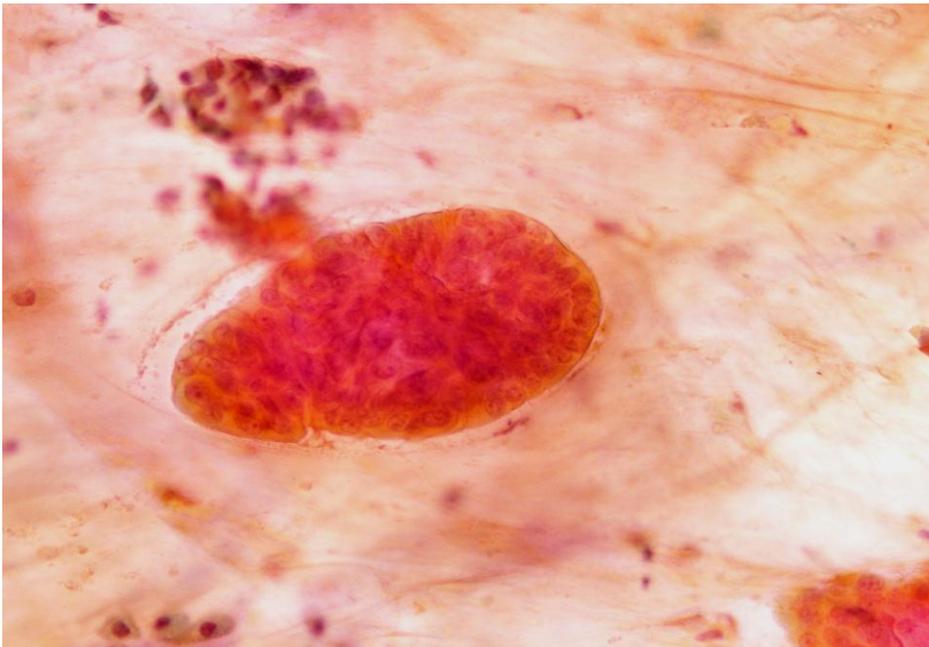


図3 Pap ×100

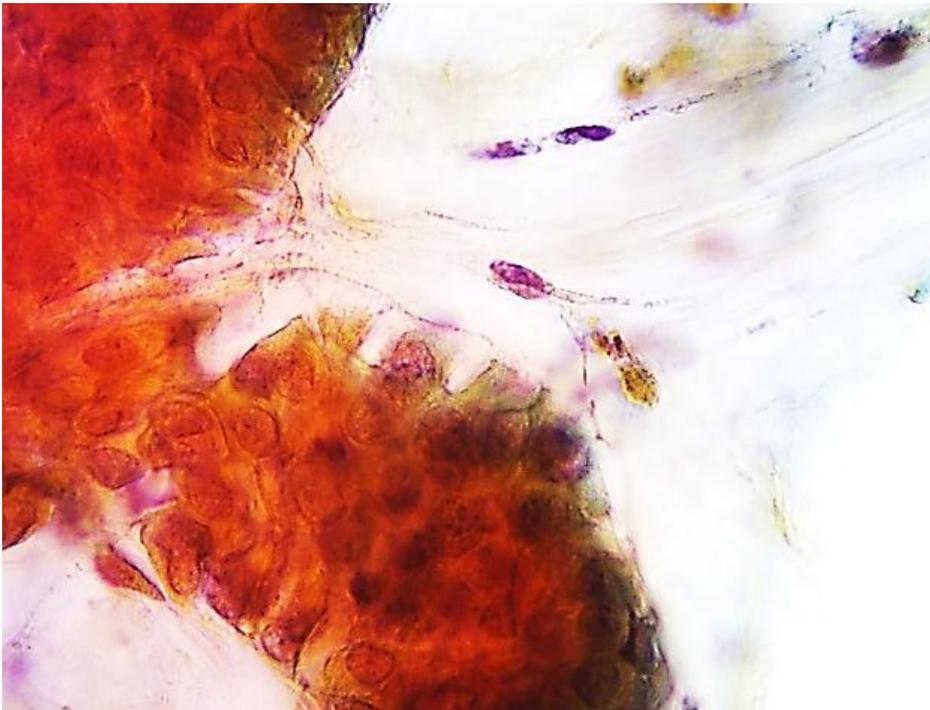
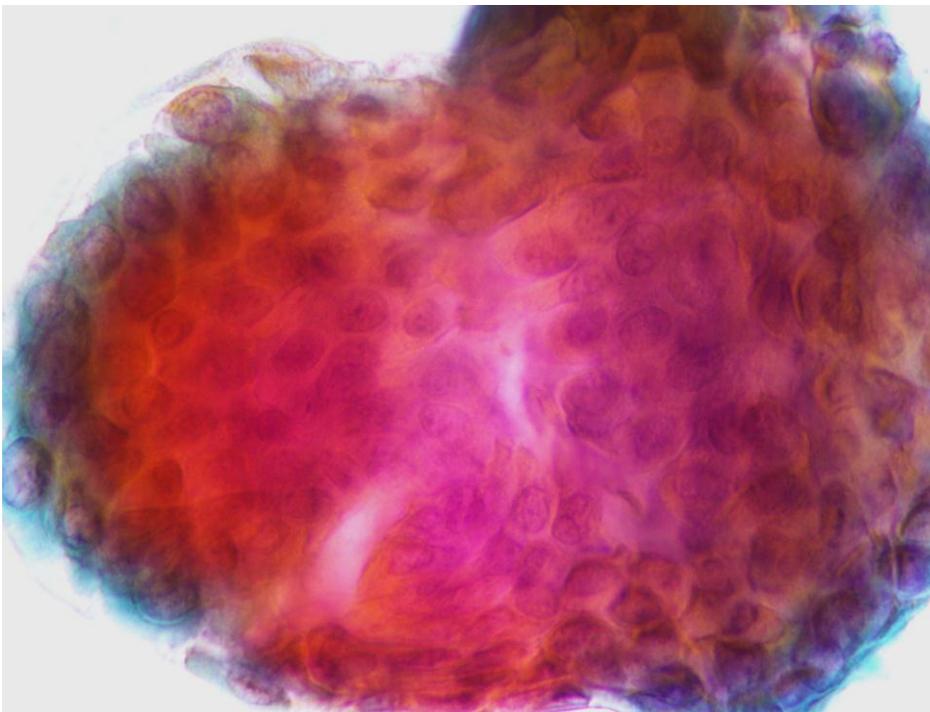


図4 Pap ×100



# 設問 4

図1 Pap ×100

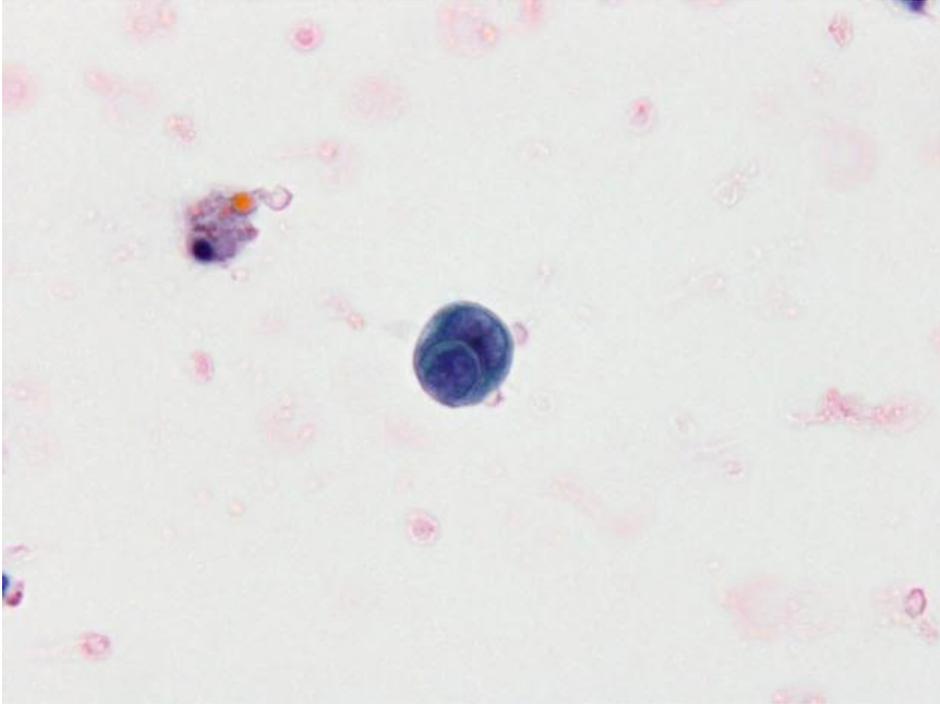


図2 Pap ×100

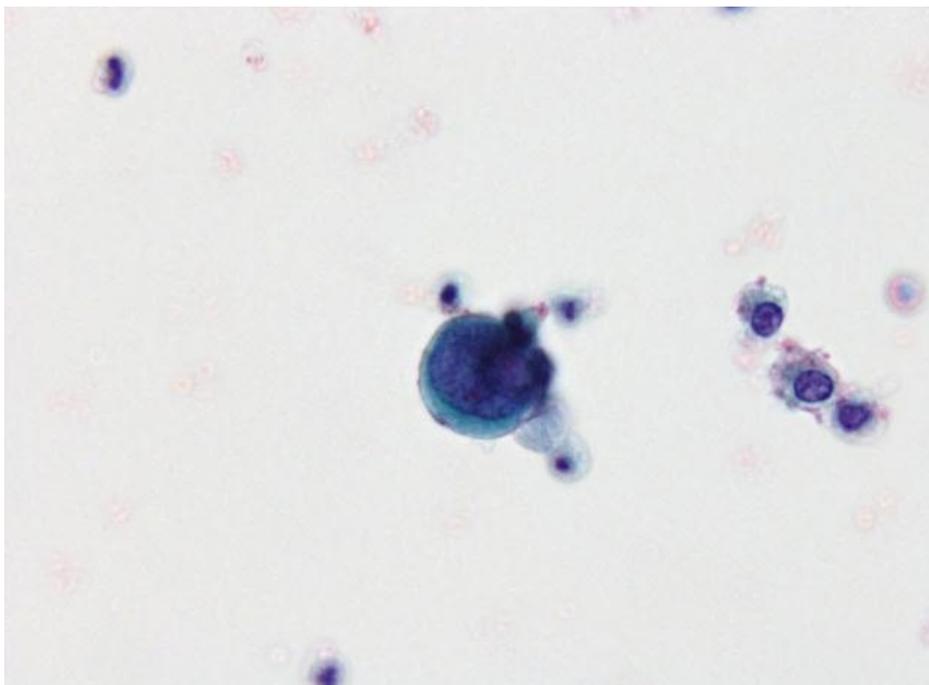
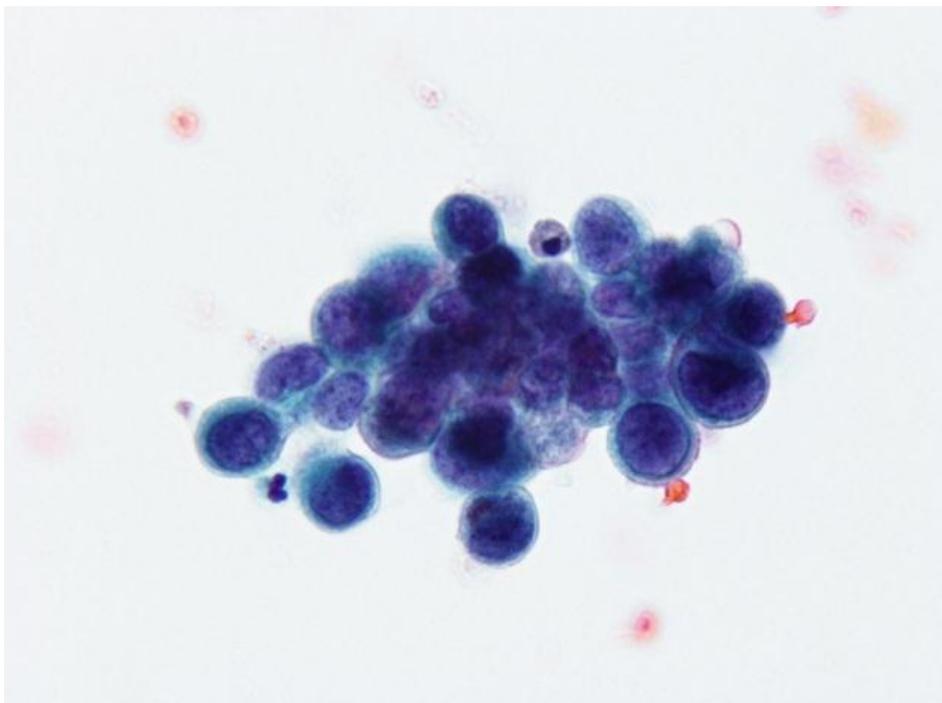


図 3 Pap ×100



# 設問 5

図1 Pap ×20

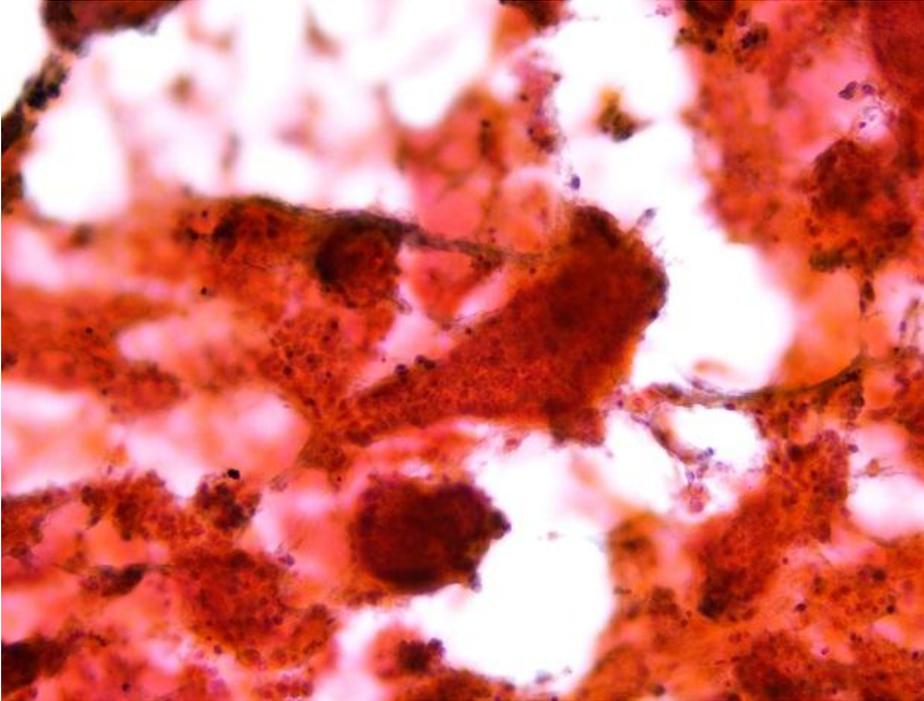


図2 Pap ×100

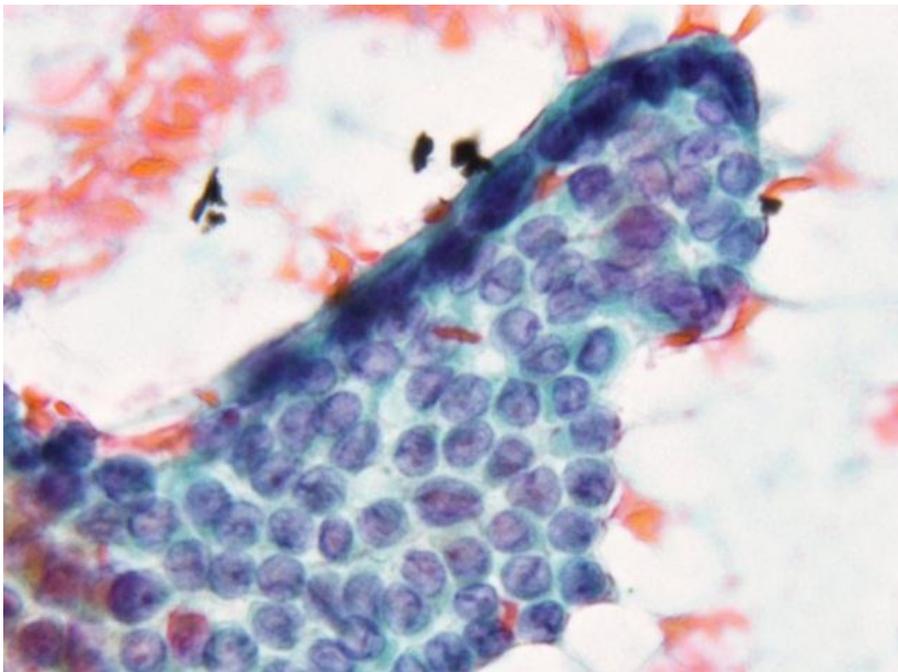


図3 Pap ×100

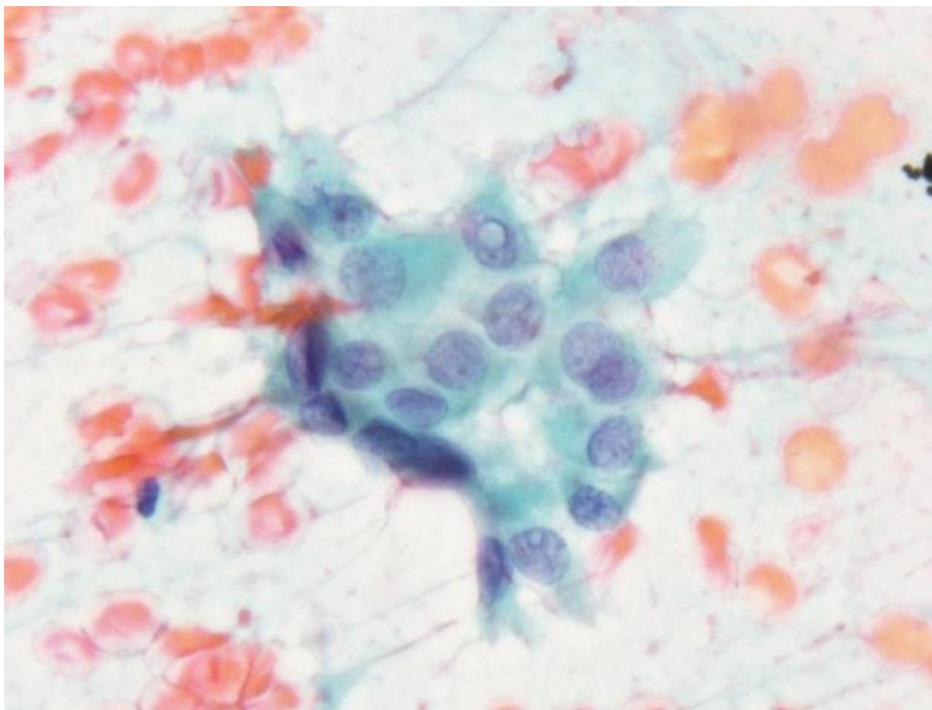
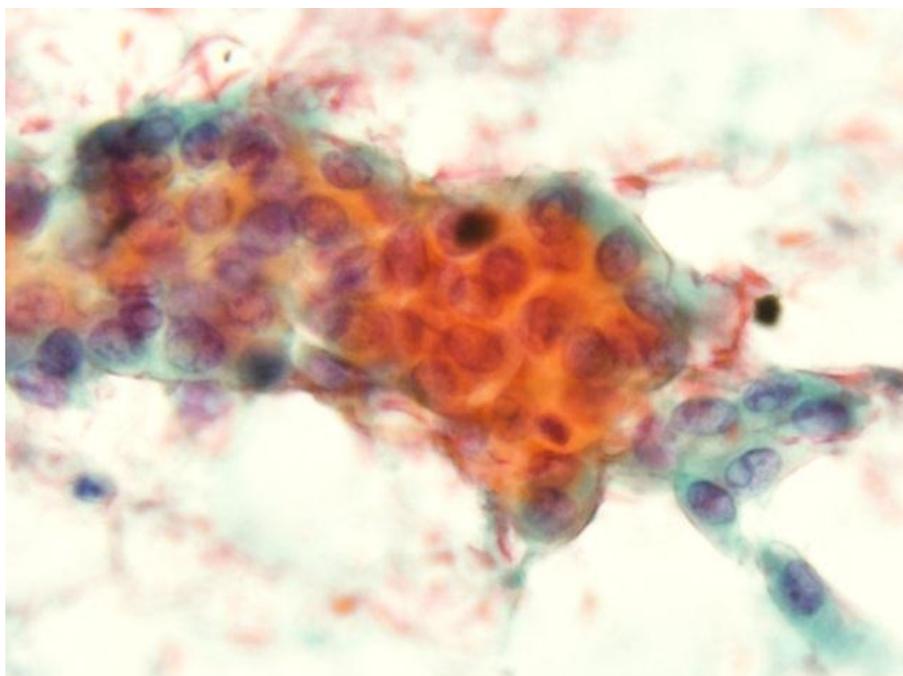


図4 Pap ×100



## 教育症例

図1 Pap ×40

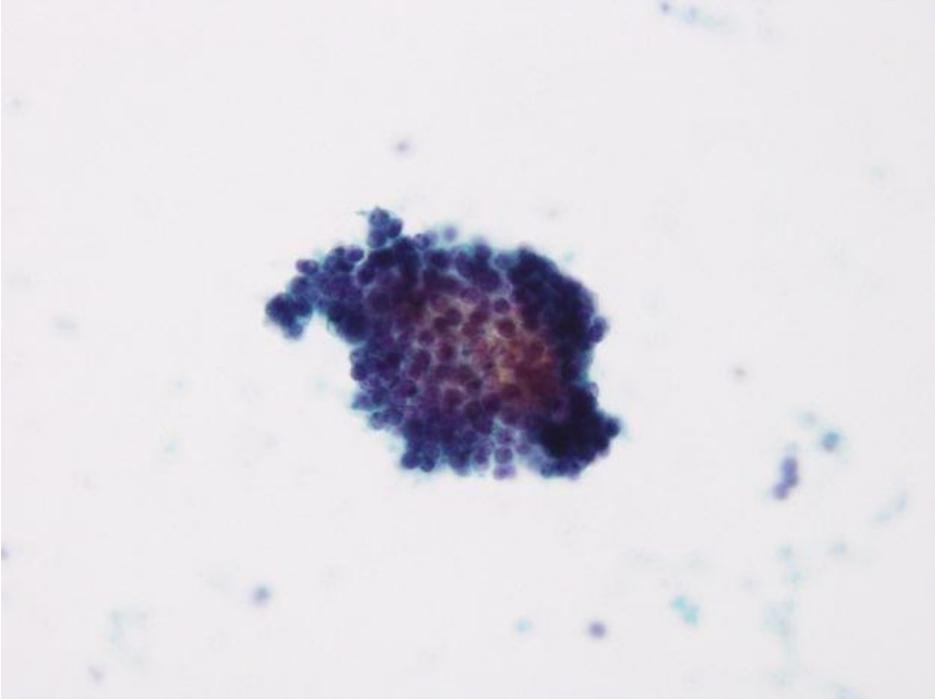


図2 Pap ×40

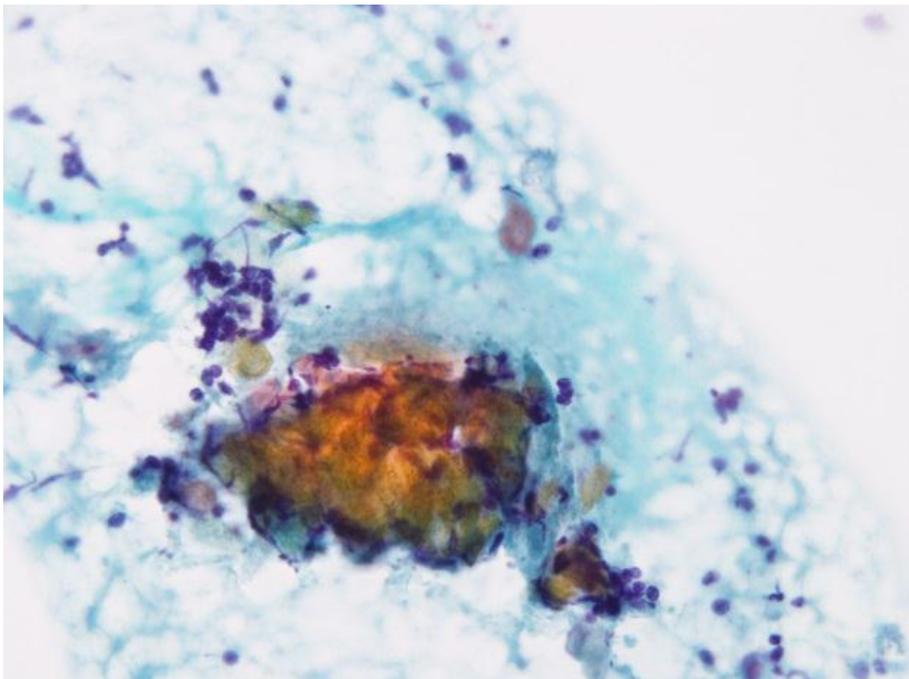


図 3 Giemsa ×40

